

近畿松江会

会報

第2号



神輿船 渡御祭（平成 21 年 5 月 16 日）

ふるさと松江

作詞 近畿松江会

一

神話は語る

ご縁嬉し

熊野神魂も

だんだん
松江

二

千鳥お城

嫁が島に

松江大橋

だんだん
松江

三

蛸美味し

波に遊ぶ

勾玉湯の町

だんだん
松江

四

牡丹薫る

紫烟けむる

恵比寿シヨコホイ

だんだん
松江

八束路

中海

五本松

ふるさと

曲は 故郷（ふるさと）作曲 岡野 貞一

うさぎ追いし かの山・・・

※ 近畿松江会では歌詞を募集しています

ご応募は事務局へお問合せください

目 次

表紙題字	近畿松江会 顧問 和田亮介氏
会長挨拶	1
松江市長挨拶	2
松江市の観光〔松江市観光文化ブランド推進課〕	3
近畿松江会3年間の歩み	4
三水会この1年	7
ホーランエンヤ、近畿松江会、松江市「ツアー参加者一言メッセージ」	13
【平成21年度総会資料】	
総会 懇親会式次第	21
総会 懇親会出席者名簿	22
平成20年度事業報告	23
平成20年度決算報告	24
平成21年度事業計画	25
平成21年度予算書	26
役員名簿、公告協力者一覧表	27
会 則	28
会 員 名 簿	30
広 告	34
編 集 後 記	40

ご 挨拶



近畿松江会 会長 荻田運三郎

私事ですが、この一月の役員会で二代目の近畿松江会々長に推され、五月の総会で承認された荻田でございます。

松江会の発足時は、初代長谷川吉雄会長のもと、事務局長をつとめて参りましたが、未だ基盤の固まっていない会を何とかしたいということから、去年の総会后「三水会」を立ち上げました。

この会は、毎月第三水曜日、大阪城玉造口にある「大榭」に役員が集まり、盃を交わしながら、腹藏なく語り会おうという趣旨の会でした。

折も折、NHKの朝の連ドラで、松江と京都を舞台にしたご存知の「だんだん」が始まりました。三水会も回を重ねるにしたがってだんだん盛り上がり、時には意見が衝突、あわやという空気になったこともありましたが、「故郷松江のため」という共通の認識が働き、遂に会の愛唱歌“ふるさと松江”が誕生するまでに至りました。そして、五月十六日に松江で催される日本三大船神事、ホーランエンヤの観覧ツアーが実現したのも、やはり三水会の積み重ねの結果、と申せましょう。

バス二台を連ねる、このツアーの参加者は六十余名、ホーランエンヤの前日十五日、窓外の風景を賞でながら、“ふるさと松江”を歌いながら松江市庁舎に到着、庁舎内で第四回の総会を開きました。

会則の改正、新役員の選出、承認など、すべての議案が通り、再びバスで美保関「なべや別館」に着きました。その夜、松浦松江市長をはじめ、商工会議所や観光協会のお歴々をお招きし懇親会を催しましたが、松江市御提供の「関の五本松」や出雲、隠岐の民謡を存分にたのしみ、評判の「なべや」の料理に舌鼓を打ち、最後は、地元松江市の皆さんと共に「ふるさと松江」の大合唱で幕を閉じました。

さて、翌日の十六日（土）は、ホーランエンヤの本番です。气象台の予報は雨でしたが見事に外れ、大橋川一杯に漕ぎ回る櫓伝馬船団の船神事は、文字通り勇壮華麗、特等席の会員は、息を呑み肝を奪われた三時間でした。

今回のバスツアーの二日間、多少手前味噌になりますが、今後の近畿松江会の結束と発展に大いに役立つ行事だったと思っています。

そして、とりわけ新しい役員の皆さんが、それぞれの役割を自主的に、立派に果たして下さいました。会長として心から感謝申し上げます。

最後に、われわれの故郷松江市が、益々発展されることに、少しでも役立つ近畿松江会として参りたく、会員皆様の一層のご協力を、心より御願いして筆を擱きたいと存じます。

近畿松江会の皆様へ



松江市長 松 浦 正 敬

故郷松江へようこそお越しいただき、誠にありがとうございます。

近畿松江会も4回目の総会を開催され、荻田会長をはじめとする新しい役員体制のもと、更なる会の発展にご期待申し上げますとともに、市といたしましても継続して支援をしてまいりたいと考えています。

このたびは、明日開催されます「ホーランエンヤ」を機に、故郷の地へ多数集われ、このような盛大な懇談の場にお招きいただき、誠にうれしく思います。

また、この場に再び松江市長として挨拶をすることとなりました。皆様のご期待にお応えできるよう、市政発展に全力を尽くしてまいる決意でございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。雇用対策をはじめとする効果的な経済対策が喫緊の課題であります。この厳しい時代であるからこそ、市民、そして故郷を思う皆様が夢を持って暮らせる施策を取り組みたいと考えています。

定住人口20万人、住みやすさ日本一、特色ある地域づくり、それぞれの実現に向け、取り組んでまいりますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、ご承知のとおり、「ホーランエンヤ」は、大阪天満の天神祭、宮島の管絃祭と並ぶ日本三大船神事でございます。豊作や災厄防除を祈る式年神幸祭でございます。360年の歴史を持っています。「五大地」の櫓伝馬船が繰り広げる時代絵巻を思う存分楽しんでいただきたいと思います。

馬潟、矢田、大井、福富、大海崎の五大地と呼ばれる地域の人々が、少子高齢化の時代の変化に大変な苦勞をして伝統を守り続けてきています。伝統を次の世代に引き継がなくてはならない使命感と郷土の誇りを持ち努力している姿を堪能していただきたいと思います。

今年は、「だんだん」効果もあって、観光客も増加しています。明日からの「ホーランエンヤ」をメインイベントに、秋には「お城サミット」と称して、8つ（丸亀、松山、高知、宇和島、弘前、備中松山、丸岡そして松江）の重要文化財天守閣を持つ地のお殿様に、松江城にお集まりいただき、姫路、彦根などと並ぶ国宝化への戦略会議を開くという新たな企画など、400年祭事業の更なる盛り上げを図ってまいりたいと考えています。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

はなはだ簡単ではございますが、歓迎の挨拶といたします。ありがとうございました。

「松江市の観光」

松江市観光文化ブランド推進課長 小山 厚

松江市は、昨年観光入込客数が 886 万人と過去最高になりました。また、堀川遊覧船は先月運航 11 年目で初めて年間 35 万人を達成するなど、松江の観光はいま世界的に経済が低迷する中であって、順調に推移しています。これも、昨年の出雲大社の本殿特別拝観や、朝の連続テレビ小説「だんだん」の放送という追い風もあってのことですが、松江も 2 年前から松江開府 400 年祭を 5 年間行うことで、1,000 万人の誘客を図ろうとしています。

観光に力を入れるメリットは、もちろん地元への経済波及です。200 万人観光客を増やすことで、約 170 億円の経済効果を試算しています。さらに、観光による経済への貢献度を全国と比較すると、松江は高いという理由があります。全産業の生産額に占める観光産業の割合は、全国平均が 5.8% であるのに対し、松江市は 9.9% も占めているのです。そして、観光はサービス業に留まらず、地元の食材使用、土産品の製造・販売、観光施設整備などにより、全産業に利益を及ぼす裾野の広い産業で、松江の経済を牽引するまさに期待の星なのです。

さて、松江開府 400 年祭ですが、何故 5 年間も行うのかとよく聞かれます。堀尾吉晴公により 5 年の歳月をかけ城やまちが築かれたことに因む意味もあるのですが、松江の将来を見据えての「人づくり」、「まちづくり」に視点を置いているからです。もちろん 5 年間行うことで知名度を高めることが主眼ですが、松江の歴史や培われた文化を学び後世に伝えるため、産学官一体となって松江らしいイベント等を開催し、松江をブランドとしてアピールするために 5 年間は必要だからです。

今年は日本三大船神事といわれるホーランエンヤが 12 年ぶりに開催されますし、松江城の国宝化に向けた取組みとして「お城サミット」を開催します。また、人口比でいうと松江はおでんの店が日本一多いことから、来年は「おでん都市松江・おでんサミット」を開催するとともに、近世からの貴重な歴史資料を展示する博物館を松江城の隣接地に開館させる予定です。さらに、平成 23 年にはフィナーレとして松江大博覧会を開催します。

昨年松江はフランスのブルーガイドで、全国 20 箇所のトップクラスである三星観光地の 1 つに選ばれました。インバウンドにも力を入れ台湾、韓国、中国からの観光客も伸びています。

松江は、観光素材としてよいものが沢山あります。宍道湖、夕日などの自然やしじみ、和菓子、そばなどの食、お茶の文化、そして温泉などがそうですが、これらを今後どう生かしていくかが課題です。

国に観光庁ができ、広域観光圏事業もスタートしました。付加価値の高い松江ブランドとして売り出すことで観光消費額を高め、広域連携のもとでより経済効果の高い滞在型の観光地として発展するよう官民一体となって努力していきたいと思います。

☆ 近畿松江会 3 年間の歩み ☆

【設立総会：平成 1 8 年 1 0 月】

【第 4 回総会：平成 2 1 年 5 月】

□ 平成 1 7 年 1 1 月 2 日

【設立準備委員会】於：堂島・リーガロイヤルホテル

平成 1 7 年 7 月、島根経済倶楽部会長から近畿島根県人会長に就任された和田亮介氏が同年 3 月、松江市と八束郡東出雲町を除く 7 町村との大合併により人口 2 0 万人近い新松江市の誕生を機に、長年の懸案であった近畿松江会設立準備委員会を立ち上げ、発起人の選出を協議。

□ 平成 1 8 年 2 月 1 4 日

【第 1 回発起人会】於：西天満「芝苑」

設立準備委員会で選出された 1 0 人の発起人が一堂に会し、設立提案者の和田県人会長から会長に長谷川吉雄氏（灘町出身）を、事務局長に苅田運三郎氏（雑賀町出身）を指名、出席者全員の賛同により選出。発起人 1 0 人が各々 1 0 名の会員を集めて、1 0 0 名を目標に努力を誓う。

□ 平成 1 8 年 4 月 4 日

【第 2 回発起人会】於：島根県大阪事務所 2 階事務室

和田、長谷川、苅田、福原（県大阪事務所長）、後藤（同事務所課長）、会合し、事務局実務の具体的推進事案を討議。

□ 平成 1 8 年 4 月 1 8 日

【第 3 回発起人会】於：島根県大阪事務所 3 階事務室

事務局実践活動の推進について協議。会員加入の進捗状況の把握、松江市当局並びに関係団体への支援要望事項精査について協議。

□ 平成 1 8 年 7 月 1 4 日～2 6 日

【松江市訪問】於：会長・事務局長 帰松

松江市役所、同各 7 支所、松江商工会議所、松江観光協会、山陰中央新報本社、各 7 商工会、各 7 観光協会ほか 1 0 団体を表敬訪問し、支援をお願い。

□ 平成 1 8 年 8 月 8 日

【第 4 回発起人会】於：島根県大阪事務所 3 階事務室

平田山陰新報大阪支社長を招聘して、創立総会 P R を協議。

平成18年10月22日

〔設立総会・懇親会〕於：大阪梅田 新阪急ホテル「月・星の間」
設立発会記念総会・懇親会として会員91名、来賓31名、関乃五本松節保存会一行11名が来場し挙行



●長谷川会長挨拶

松江を故郷とする多くの方々のご賛同を得、一堂に集い発足刷ることができた。
今後それぞれの親睦と故郷松江の振興に寄与できればと願い活動したい。

●松浦松江市長挨拶

松江出身者等による発足の集い、まことにめでたい。新しい松江の地域振興、観光対策に一層努力していきたい。協力を願う。

●来賓挨拶

待望の近畿松江会発足、まことにおめでたい。県下各市町の近畿の会が30を越えている。親睦と情報交換等、協力して充実ある地域の会にしたい。

平成19年10月7日

〔第2回総会・懇親会〕於：大阪福島 ホテル阪神10階ザボール・ルームホール
会員62名、来賓15名、島芝翫節保存会一行7名が来場し挙行。



□ 平成20年5月11日

〔第3回総会・懇親会〕於：大阪福島 ホテル阪神10階ザボール・ルームホール
会員75名、来賓21名、亀尾神能保存会一行7名が来場し挙行。



□ 平成21年5月15日

〔第4回総会〕於：松江市役所3階会議室
会則改正ならびに新役員13名（参照：平成21年度役員名簿）を選出し、第2代会長に荏田運三郎氏就任を承認。



〔懇親会〕於：美保関・なべや別館2階宴会場
会員・家族・友人・来賓の計72名が参加、関乃五本松節保存会一行10名が来場し挙行。

□ 平成21年5月16日

〔第1回バスツアー〕於：松江大橋川沿い北側特別棧敷
日本三大船神事（12年毎に開催）松江城山稻荷神社式年神幸祭（ホーランエンヤ）を、会員・家族・友人の約80名が観覧。
5月15、16日のツアーについては「一言メッセージ」として特集しています。

役員会〔三水会〕 この一年

● 第1回三水会 6月18日（水）

5月11日の懇親会総括として開催しました。役員会を「三水会」と称し、月1回第3水曜日に開催し、役員相互の理解と闊達なコミュニケーション場として育んでいくことを確認しました。

● 第2回三水会 7月16日（水）

竹澤監事の後任として山陰合同銀行大阪支店長 杉原伸治さんをお迎えし、21年度総会実施スケジュール等について協議し、21年度はホーランエンヤを機に松江市で開催することを確認しました。



● 8月6日（水）

島根県事務所において過去の「近畿島根県人会開催ツアー」を例として旅行の取り組みについて教えていただきました。

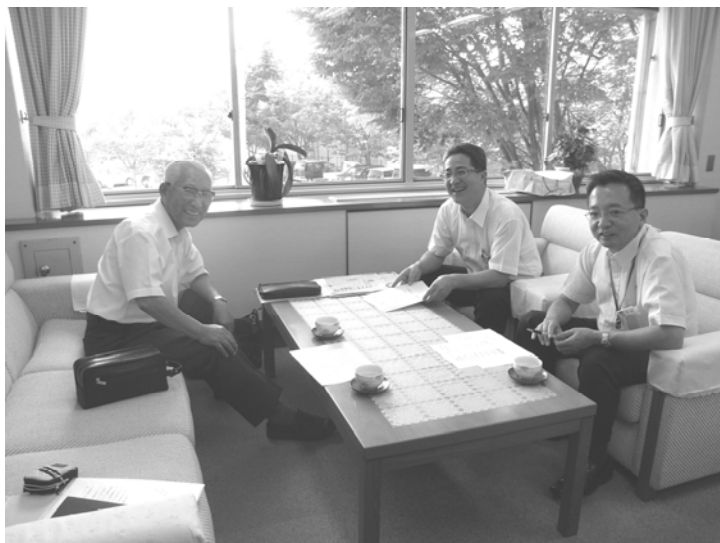
● 8月9日（土） 10日（日）

京都島根県人会の加茂川納涼へ参加し、近畿松江会加入案内及びNHK朝の連続ドラマ「だんだん」のピーアールをしました



● 9月10日（水）、11日（木）

総会を松江市で開催する旨、松江市役所、商工会議所、観光協会及び宿泊候補地の松江市美保関支所、なべや別館を訪問しました。



● 第3回三水会 9月17日（水）

総会の取り組みについて「手作り」にて会員が参加しやすい料金設定及び、旅程計画等を検討することを確認しました。

※長谷川会長、体調不良のため荻田事務局長を会長代行とすることを決定しました。

また、ふるさと松江の作詞披露があり今後、会毎に合掌することになりました。

● 9月22日（水）

松江市立八束中学校の2年生が体験学習のため、大阪天神橋商店街にて地元特産品の販売、観光PRを行いました。役員有志で応援に駆けつけました。

・・・今年度は松江市立小、中学校において同様な企画があれば会員の皆様へ広くご案内する予定です。



● 第4回三水会 10月15日（水）

総会及びホーランエンヤ観覧ツアーの内、バス会社の決定と予算案を確認しました。

● 第5回三水会 11月19日（水）

ツアー旅程として5月15日に松江市で総会を開催し、16日にホーランエンヤ観覧の後、縁結びの八重垣神社へ参拝し帰途に就く（案）を確認しました。

また、ふるさと納税について勉強会を開きました。

● 12月初旬より21年度 年会費徴収案内を送付しました

● 1月9日（金）、10日（土） 全国都道府県対抗女子駅伝応援

初春の風物詩となった全国都道府県女子駅伝競走大会が都大路で開催され、役員有志で応援に行ってきました。毎年、京都島根県人会の皆さんが親身になって選手たちを応援されており、当会としても京都の皆さんへの表敬を含め、応援に駆けつけました。9日夜の激励会では、「がんばれ島根」の携帯ストラップを選手、監督、コーチに贈呈し、皆、大変喜んでくれました。

本番の日には大会会場で、毎年、京都島根県人会の皆さんは早朝から「出雲蕎麦」の屋台を出されて大好評を博しておられそのご努力には敬服いたしました。

優勝は京都チームで、島根チームは34位（2時間24分39秒）でしたが、一時は8位で襷を渡し、大健闘で、見ごたえ十分でした。来年が楽しみです。

・・・来年は広く会員にご案内する予定です。



● 第6回三水会 1月17日（土）

総会までの準備等、スケジュールの最終確認をしました。

当日は前進座初春特別公演「出雲の阿国」の観劇をいたしました。主役は「妻倉和子」舞台は京都加茂川より出雲へ、阿国の人柄がしのばれました。

・・・次回は広く会員へご案内する予定です。

● 第7回三水会 2月19日（水）

総会、ホーランエンヤ観覧ツアー旅程、会費の決定及び会則の改正案について協議しました。また、会報の広告募集について確認しました。

● 2月20日（金）

NHK 連続ドラマ「だんだん」の撮影終了を祝う会にご招待いただきました。スタッフの人数って考えられないぐらい多いですね。皆さんには申しわけありませんが、出演者の方々と親しくお話をさせていただきました。だんだん



● 3月2日（月）総会、ホーランエンヤ観覧ツアー参加者募集案内を送付しました。

● 第8回三水会 3月18日（水）

参加者申込状況確認及び会則改正案について提示のあった各々の修正案を事務局にて整理し再提案をしました。

参加者が当初計画を下回り、役員で動員をかけることに決定しました。

● 3月24日（月）予定は23日（雨天順延）

春の選抜高校野球「開星高校」を応援しました。

・・・会員各位にご案内いたしましたが残念ながら参加者少数



対戦相手は優勝候補神奈川の「慶応高校」でしたが結果は4－1で見事勝利しました。地元の高校の校歌を聞くのはいいものです。

3月28日（日）は和歌山の「箕島高校」と対戦、強豪相手にリード、同点の繰り返しでしたが、後一本のヒットが・・・

3－4で惜しくも敗退しました。夏にも来いよー

● 第9回三水会 4月14日(水)

総会、ホーランエンヤ申込状況と動員状況、及び会則修正(案)、役員候補(案)来賓への手土産ほかについて確認しました。

また、会報制作について協議し、ホーランエンヤの特集を織り込んだものとする
こととし、近畿松江会の歩み、松江市長挨拶、また松江市へPR記事依頼等を確認
しました。

旅行中の写真撮影を松本副会長のご友人土田和男さんにお願ひしました。

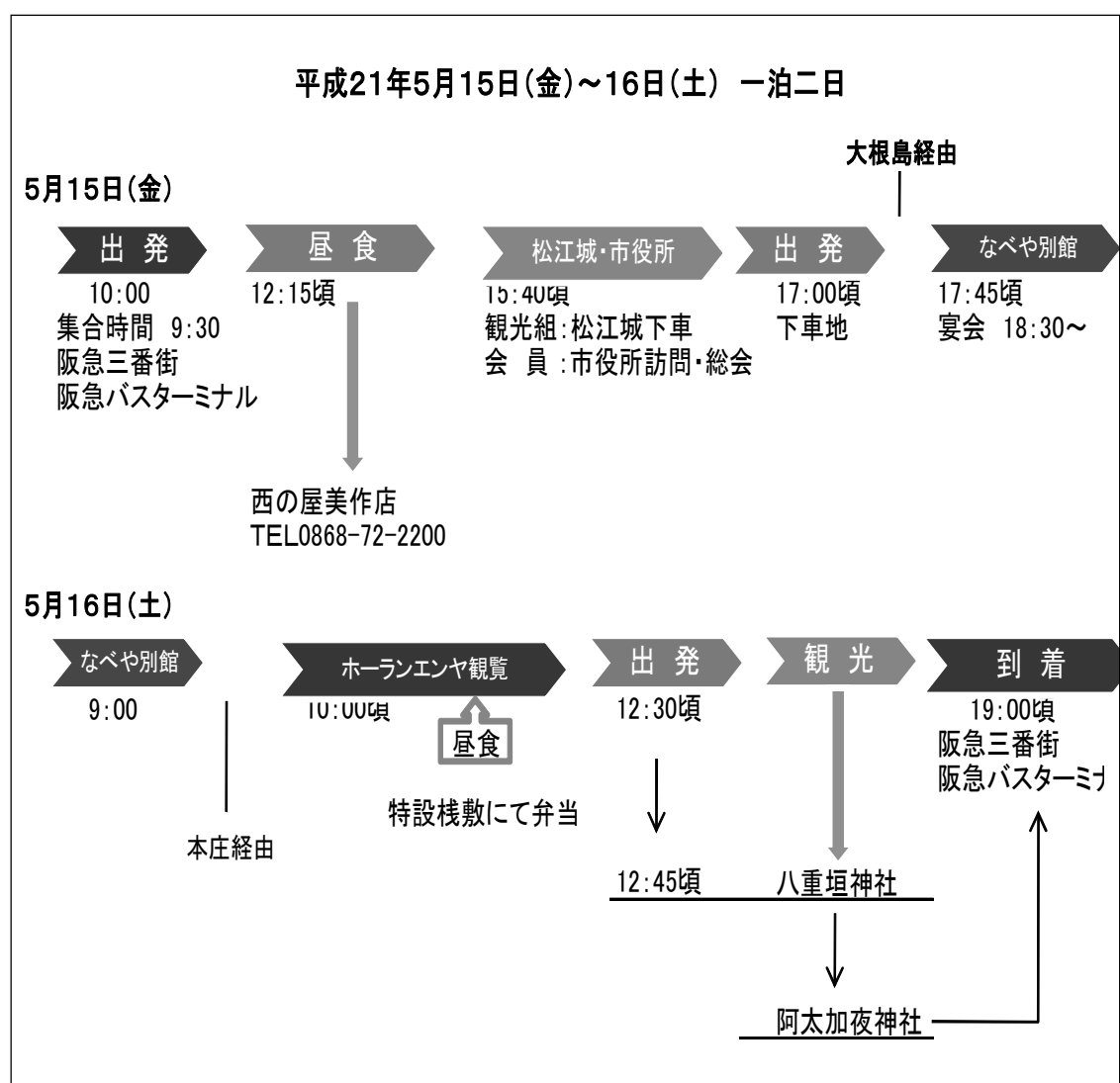
・・・土田さん、大変貴重な記録写真を有難うございました。

● 第9回三水会 5月7日(金)

総会直前確認会議を開催しました。

最終スケジュールを下記とし、総会の次第及び役割分担、バス乗車割り、旅館の
部屋割り、懇親会の次第と役割分担、席次、来賓の確認ほかを確認しました。

残念ながら阿太加夜神社は交通規制でお参りできませんでしたが、米子市内のお
菓子城へ立ち寄りしました。



● 第4回 総会・ホーランエンヤ観覧ツアー

総会：5月15日（金）松江市役所3階会議室にて

観覧：5月16日（土）松江大橋川沿い特別栈敷にて

待ちに待った5月15日は花曇り。12年ぶりとはいえ、ホーランエンヤを見るのはこれが初めての方も多数ということで、56名の参加者がはやる心をおさえながら次々に阪急バスターミナルに集合し、午前10時、勇躍、大阪を後にしました。バスの心配は、ただ一つ「お手洗い」でしたが、これも停車回数を一回増やしていただけるということで大安心し、車中では「歌姫」も「ベテラン歌手」も登場するなど、「西の屋美作店」でお昼をいただくころには、全員がすっかり打ち解けていました。

午後3時半過ぎ、松江市役所の皆さまにあたたかく迎えられて到着し、無事に総会を終えてから以降は、ホーランエンヤ一色のツアーとなりました。

松江市役所を出発し、大橋川北岸を東行し、朝酌から嵩山の麓を抜けて、大海崎から大根島へ、そしてあの高さを誇る江島大橋を渡り、一旦境市を經由して再び中海北岸へ渡り、そのまま東行して午後6時前に美保関の「なべや別館」へ到着して往路の旅を終えました。

神々の故郷である我々の郷里は、バスの中から見ただけでも、実におだやかに美しく、特に大根島、中海東側、島根半島の美保関に続く北山山脈のゆったりとした姿・・・、この青と緑の情景は、何度見ても飽きのこないもので、流石、神々が選ばれた土地だけのことはあると、今更ながら強く感じました。

クラシックなたたずまいの「なべや別館」で、ゆっくりとお風呂に入った後は、松浦正敬松江市長様（お土産のホーランエンヤ絵皿、有難うございました）をはじめ、別掲の松江市のお歴々の皆様にもご同席いただき、松江からの合流組も加わって総勢72名の大会となり。関乃五本松節保存会の皆様による唄と踊り、あちこちで交わされる「あげだわね、そげだわね」の懇親、そして最後は全員で記念写真を撮り、愛唱歌「ふるさと松江」を大合唱しておひらきとなりました。

翌日はいよいよホーランエンヤの本番。早めに宿舎を出て中海北岸を西行し、1時間前には松江市役所でご準備いただいた大橋川北岸、新大橋寄りの特別席に、今や遅しと陣取ることができました。

心配したのは、ただ「雨」だけでしたが、それも何とか持ちこたえてくれて、待ちに待った素晴らしい時代絵巻「ホーランエンヤ」を心いくまで見学することができましたが、それは予想をはるかに超える素晴らしさでした。そのことは多くの皆様が別掲のメッセージで紹介しておられますので、ここでは省略しますが、「見てよかった、生きててよかった、松江に生まれてよかった」と、皆さんが感じられたことでしょう。

復路は、一同、興奮もさめやらぬ中を再びバスに乗り込み、八重垣神社に参拝した後、一路、大阪への帰路につきましたが、「ホーランエンヤ」の話題に花が咲く内に、アツという間に無事、大阪に到着し、参加者一同、大満足のうちに、又の再会を期して解散いたしました。

今回のツアーの締めくくりとして、参加者よりホーランエンヤ、近畿松江会、松江市についてと題して「一言メッセージ」をお寄せいただきました。重複するメッセージ内容については編集の過程で省略しています。

山 本 洋 【玉湯町出身】

私は松江を離れてほぼ70年経つが、12年に一度というこの行事を観蘭したのは始めてであった。大井、矢田、馬潟、その他の地域毎に仕立てられた渡御船のグループが我々観衆の前を3回廻って中海に去って行くのを固唾を飲んで眺めたのは誠に感銘深いもので、日本の三大船神事といわれるだけあって私の心に終生消え去らぬ想いを残すものであった。

松 本 耕 司 【上本庄町出身】

松江と言っても在郷の生まれの私は、ホーランエンヤを本格的に見たのは還暦も過ぎた今回が初めてでした。そして期待以上のすばらしい内容に圧倒されました。

特に伝統を集落一体となって保存しておられる馬潟、矢田、大井、福富、大海崎の、所謂「五大地」の皆さんのご努力にはただただ敬服するのみです。

先祖代々、お金の負担ひとつを考えても大変なこと（だった）でしょう。しかし、その苦勞を乗り越えさせてくれる何かが、このホーランエンヤにはありますよね。

大海崎の隣りの本庄の出身者としては、五大地の皆さんが羨ましくもあります。やはり、持つべきものはすばらしいご先祖様ですね。



□ 梶 月 禎 暉 【宍道町出身】

12年に一度の祭りを観覧し、大感激です。本当に良い思い出となりました。

□ 荻 田 運三郎 【雑賀町出身】

54年前に大阪勤務になったが、少年時代、ホーランエンヤという神事があることは知らないまま、今年開催を知り近畿松江会総会の故郷開催を企画させて頂きました。期待し、想像したとおりの爛熳豪華な船神事を観覧させてもらった甲斐がありました。

□ 高 島 明 美 【一般参加】

12年に1回のお祭を見させて頂ける機会を与えて下さり、感謝しています。また、役員の方々が一生懸命お世話されていて、ほんとに松江を愛されているんだなと感動いたしました。ますますのご活躍を期待しています。

□ 荻 田 チエミ 【呉市出身】

大成功でしたね。会員でない方へも大変親切にいただき、有難うございました。どうぞこれからも近畿松江会のますますのご発展をお祈り申します。

□ 山 口 ま り 【一般参加】

2日間にわたって大変満喫できました。もう一泊できたら更にゆっくりと松江を満喫できたかも知れませんが、またの機会に是非遊びに行きたいと思います。近畿松江会の皆様、有難うございました。



□ 上 原 あすみ 【一 般 参 加】

昨年に続き、今年の1月も松江、出雲大社に来させていただきましたが、縁あって3度目の松江を訪問することが出来ました。近畿松江会の皆様とご一緒させていただき、いろいろなお話を聞かせていただくことができ、楽しく一泊二日の旅をすることができました。

□ 守 田 宣 昭 【萩 市 出 身】

よいトキ（12年に一度）よいトモ（近畿松江会）の楽しいたびを有難うございました。参加された皆様の強い念力で降雨が半日遅れ、これも会員皆様の平素の陰徳のおかげ、（感謝、感謝）だんだん。

□ 出 本 麻 理 【一 般 参 加】

島根は両親の故郷で今回は10年ぶりでした。都会にはない、ひかえめな人情の暖かさや自然の豊かさをいつも感じていましたが、お祭という華やかな松江に触れることができ、また違った松江を再発見しました。

□ 木 幡 晃 正 【宍 道 町 出 身】

お陰さまにて雨に降られずホーランエンヤが観覧できて良き思い出づくりができました。世話役の皆様には心から感謝いたします。

□ 井 上 喜久三 【一 般 参 加】

12年に一度の祭りとのこと、日本の祭りに関心があり、企画されたことに感謝しています。



□ 倉 本 幸次郎 【一 般 参 加】

遠い所の松江が皆さん方の和で近い所になり、ホーランエンヤは一生の語り草になると思います。松江市は再度訪れてみたいと思いました。島根県にゆかりの無いものには小京都ではなく中京都に思います。

□ 藤 田 由 里 【一 般 参 加】

“松江” がとても好きになりました。また夏の花火大会など楽しみです。

“だんだん”

□ 伊 藤 雅 義 【宍道町出身】

色とりどりの装飾をした船上で、古式豊かに繰り広げられる権伝馬踊りを目の当たりに観て、「臨場感と眼福（美しいものと対面する幸せ）の充実感を覚えた」という、誰かの言葉を思い出した。

伝統文化の後継者不足が全国的に言われる中で、ここ松江では着実に引き継がれている。何かと御苦勞も多かろうが、ただただ感心するのみ。

□ 井 上 隆 吉【上東川津町出身】 井 上 芳 子【石橋町出身】

友人を誘って松江のよい所をピアーアルしたいと思いましたが、時間がなく残念でした。社内でピアーアルします。



□ 中 身 房 子 【一 般 参 加】

ホーランエンヤ、感動しました。近畿松江会会員の友人に声をかけてもらって参加させていただき、有難うございました。

□ 遠 藤 福 栄 【一 般 参 加】

“ホーランエンヤ”初めて観覧させていただいて、想像以上に豪華絢爛で楽しめました。また機会があれば観覧したいと思います。

□ 池 尻 正 明 【宍 道 町 出 身】

2日間、皆様と行動を共にし、沢山の方々とお話しができ、大変良かったと思います。細かい心遣い、有難うございました。

□ 佐々木 悦 子 【一 般 参 加】

大昔に観たホーランエンヤを再び観たいと思っていました。12年後も元気に来られたらと健康に気をつけたいと思います。昨日は自由時間に堀川めぐりの船に乗り、松江の町を楽しみました。



□ 小 川 定 男 【一 般 参 加】

日本文化、ことに江戸時代より続く日本の伝統が松江においても受け継がれていることに喜びを感じます。松江会の皆様、今後とも頑張ってくださいと思います。

□ 脇 田 健 晶、茂 子 【一 般 参 加】

平成9年の資料や写真で事前に学習する機会に恵まれて（松江城の資料館で）より一層衣装や動きに興味が持てました。近畿松江会の皆様、どの方も暖かく楽しい方でこれからもより一層ご発展をお祈りしています。松江市の市長さんはじめお役所の方々、もっともっとこんな素敵なお祭り、アピールして下さい。よろしく！

□ 小 川 ちづる 【一 般 参 加】

12年毎の船神事、その壮大さにびっくりです。このような祭りがあるとは知りませんでした。帰ったらいろんな人に話をし、次の12年後に行けるようなら是非一度観たらと薦めたいです。ずっと守ってこられた方々そして次へと引き継いでいくことはたいへんなことだと思います。絶えることなくずっとお祭が続くことを祈念します。

□ 武 田 和 子 【雑 賀 町 出 身】

明治ご維新の頃から松江藩の氏であると言い伝え聞いていた母方の祖母、懐かしいふるさとの地へ84歳の丑年に訪れることができました。食べ物もおいしく、若い方々との交流も楽しゅうございました。



□ 杉 谷 百合子 【出 雲 市 出 身】

小学校の遠足で松江城訪れて以来。30年ぶりの松江旅行となりました。大社町に暮らす両親も観させていただき、目に見えない“ご縁”で人と人がつながっているということを感じました。ご参加の皆様のお幸せを祈りつつ家路につきます。

□ 多 田 美智子 【一 般 参 加】

五船、各船の踊り、大変感動しました。福富の高校生、大海埼の小学生の踊り、大人に負けじと大変頑張っていて、少し涙が出そうでした。昔からの伝統文化を続けることの大切さ、しかも12年に一度の。松江人の意気込みを少し見たような気がします。12年後、また観ることができるかな？私も頑張らないとー。



□ 小 松 雅 子 【明 石 市 出 身】

私は大阪生まれの明石育ちですが、“松江”というのは私にとっても“ふるさと”なんです。今回、ツアーに参加させていただき、穏やかな人情あふれる、あたたかい雰囲気の中、楽しいひとときを過ごしました。これからも近畿松江会のご発展をお祈りいたします。

□ 入 道 淑 子 【一 般 参 加】

楽しい旅ができ、有難うございました。松江ははじめてでしたがよい町でした。また来たいと思います。

□ 高 原 新 一 【一 般 参 加】

ホーランエンヤは島根大学で4年間過ごしましたが、今回はじめて観て感激しました。近畿松江会の方々のあたたかく、手際のよい手配に感心しました。

□ 木 幡 美代子 【一 般 参 加】

松江会には、はじめて主人と一緒に参加させていただきました。皆様のあたたかい人柄にふれさせていただき、本当に嬉しく思いました。

□ 竹 谷 獎 【八 束 町 出 身】

2日間のツアー、お疲れさまでした。皆さんに十分ご満足いただけるのか、楽しんでいただけるのか不安でしたが、手作りの懇親旅行の難しさを感じつつ、無事に終わったことを感謝しています。元気でまたお会いしましょう。だんだん

□ 鈴木 幸枝 【一般参加】

この2日間を通して近畿松江会のおひとりおひとりの松江市を愛する心や松江市を盛り上げていこうという思いが伝わって来ました。とても素晴らしい会だと感じております。

□ 田 辺 恵美子 【一般参加】

故郷松江の祭、聞いたことはありますが観た思い出はありませんのでいそいそと参加させていただきました。心を合わせて近畿松江会を盛り立てて下さっているみなさまのますますのご発展をお祈りいたします。

□ 木 村 八重子 【東本町出身】

近畿松江会を通して松江とのパイプもしっかりしたものとなってきたような気がします。私も出来るだけ積極的に松江に係わっていきたいと思います。松江にもあたたかく迎えていただき、こんな素敵な故郷を持つ幸せを改めてかみしめました。

□ 和 田 亮 介 【宍道町出身】

天地人三拍子揃った素晴らしい船出、前途洋々、新会長のスタート、心からお祝いたします。



第4回 近畿松江会 総会・懇親会

次 第

【総 会】	15:45~16:30	司 会	有田 嵩
1) 開会のことば		幹 事 長	有田 嵩
2) 会長あいさつ		会 長	苅田運三郎
3) 議長選出			
4) 議案		幹 事 長	有田 嵩
① 平成 20 年度事業報告・収支決算報告		事務局長	竹谷 奨
② 平成 20 年度会計監査報告		監 事	伊藤 雅義
③ 近畿松江会会則一部改正について		事務局長	竹谷 奨
④ 新役員選出・承認について		事務局長	竹谷 奨
⑤ 新役員あいさつ			
⑥ 平成 21 年度事業計画（案）・収支予算（案）		事務局長	竹谷 奨
5) 閉会のことば		幹 事 長	有田 嵩
【懇 親 会】	18:30~20:30	司 会	松本 耕司
1) 開会のことば		副幹事長	澄川 光成
2) 開会のあいさつ		会 長	苅田運三郎
3) 来賓の祝辞		松江市長	松浦 正敬
4) 来賓紹介		幹 事 長	有田 嵩
5) 乾杯		顧 問	和田 亮介
6) 郷土芸能披露「民謡と踊り」関の五本松節 関乃五本松節保存会の皆さん		代 表	三角 邦男
7) ふるさと松江（会愛唱歌）合唱			
8) 閉会のことば		副 会 長	木村八重子 以上

総会・懇親会 出席者名簿

ご 来 賓

松 江 市 長	松 浦 正 敬
松江市議会副議長	山 本 勝太郎
松江市産業経済部長	能 海 広 明
松江市秘書広報課長	高 橋 良 次
松江市美保関支所長	原 美 江
松江市商工会議所副会頭	大 谷 厚 郎
400年祭推進協議会事務局長	西 尾 俊 也

賛 助 金

山陰合同銀行前大阪支店長	竹 澤 博 幸
--------------	---------

会 員 出 席 者 (順不同)

森 廣 洋 子 (上 乃 木 町)	井 上 芳 子 (石 橋 町)
梶 月 禎 暉 (宍 道 町)	片 岡 扶美子 (石 橋 町)
田 中 晨 子 (宍 道 町)	井 上 隆 吉 (上 東 川 津 町)
和 田 亮 介 (宍 道 町)	松 本 耕 司 (上 本 庄 町)
四方田 司 (外 中 原 町)	苅 田 運三郎 (雑 賀 町)
山 本 洋 (玉 湯 町)	澄 川 光 成 (雑 賀 町)
菊 池 尅 雉 (東 朝 日 町)	武 田 和 子 (雑 賀 町)
木 村 八重子 (東 本 町)	有 田 嵩 (宍 道 町)
景 山 麻利子 (美 保 関 町)	池 尻 和 子 (宍 道 町)
竹 谷 獎 (八 束 町)	池 尻 正 明 (宍 道 町)
杉 谷 百合子 (出 雲 市)	伊 藤 雅 義 (宍 道 町)
鳥屋尾 勇 (出 雲 市)	小 高 久 始 (宍 道 町)
金 山 富 美 (斐 川 町)	川 島 俊 雄 (宍 道 町)
小 松 雅 子 (明 石 市)	木 幡 泰 三 (宍 道 町)
苅 田 千エミ (呉 市)	木 幡 晃 正 (宍 道 町)
守 田 宣 昭 (萩 市)	

平成 20 年 度 事 業 報 告

月 日	曜日	時 間	行 事 等 の 内 容	場 所	備考
1 月 1 8 日	金	1 8 : 3 0	役員会：1 9 年度総括・第 3 回総会準備	大 柝	
3 月 1 8 日	火	1 3 : 0 0	荏田事務局長：松江市訪問	関係機関	
4 月 2 2 日	火	1 8 : 3 0	役員会：総会準備・会報発行について	大 柝	
5 月 7 日	水	1 3 : 0 0	会計監査	竹谷設計事務所	
〃	〃	1 8 : 3 0	役員会：総会準備・役割分担等	大 柝	
5 月 1 1 日	日	1 1 : 0 0	第 3 回総会・懇親会・会報第 1 号発行	ホテル阪神	
6 月 1 8 日	水	1 8 : 3 0	役員会：総会、懇親会総括	大 柝	
7 月 1 6 日	水	1 8 : 3 0	役員会：2 1 年度総会・懇親会についてほか	大 柝	
8 月 6 日	水	1 5 : 0 0	荏田事務局長、竹谷：県人会ツアー事例聴取	島根県大阪事務所	
8 月 2 0 日	水	1 8 : 3 0	役員会：2 1 年度総会・懇親会についてほか	大 柝	
			ふるさと松江作詞		
9 月 1 0 日	水	1 3 : 0 0	荏田事務局長、竹谷：松江市訪問・宿泊地下見	関係機関	
9 月 1 7 日	水	1 8 : 3 0	役員会：松江市訪問報告・荏田氏会長代行承認	大 柝	
			荏田会長代行承認・竹谷事務局長承認		
9 月 2 4 日	水	1 4 : 3 0	役員会：八束中学校体験学習応援	天神橋商店街	
1 0 月 6 日	月	1 1 : 0 0	会長代行・事務局長：阪急バス打合せ	阪急観光バス(株)	
1 0 月 1 5 日	水	1 8 : 3 0	役員会：総会・懇親会について	大 柝	
1 1 月 1 9 日	水	1 8 : 3 0	役員会：総会・懇親会	大 柝	
			ふるさと納税・年会費徴収について		
1 2 月 2 日	火		2 1 年度年会費納付のお願い発送		

平成20年度 近畿松江会収支決算報告書

(平成20年1月1日～平成20年12月31日)

収 入 の 部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
前年度繰越金	32,584	32,584	0	平成19年度より
年 会 費	420,000	411,000	▲9,000	会員137名×3,000円
総 会 費	700,000	694,000	▲6,000	懇親会費76名×7,000円 祝 儀11名162,000円
寄 付 金	210,000	75,940	▲134,060	1名×50,000円(和田亮介) 1名×10,000円(荻田運三郎) 15,940円(役員会)
広告賛助金	100,000	80,000	▲20,000	1名×30,000円(武田精機株) 10名×5,000円(役員名刺広告)
借 入 金	0	52,676	52,676	荻田運三郎
雑 収 入	150	409	259	受取利子
加入者負担金	▲15,000	0	▲15,000	
合 計	1,447,734	1,346,609	▲101,125	

支 出 の 部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
総 会 費	1,150,000	1,050,592	▲99,408	懇親会費用・司会謝金等
広 告 費	42,000	42,000	0	年賀・暑中見舞い新聞広告
通 信 費	45,000	48,330	3,330	切手・はがき代
印 刷 費	60,000	60,314	314	会報印刷・資料コピー代
消 耗 品 費	20,000	13,982	▲6,018	事務用品
備 品 費	50,000	36,750	▲13,250	「近畿松江会」横断幕調製
雑 費	60,734	48,951	▲11,783	払込手数料・土産代
旅 費	20,000	29,640	9,640	松江市訪問
振込料金 加入者負担	0	16,050	16,050	加入者負担金14,950円 払込書印字料金1,100円
次年度繰越金	0	0	0	
合 計	1,447,734	1,346,609	▲101,125	

監査の結果、正確に処理、記載されていることを認めます。

平成21年4月15日

監 事 伊 藤 雅 義 印
監 事 杉 原 伸 治 印

[illegible]

平成 2 1 年度 近畿松江会収支予算書

(2 1 年 1 月 1 日～ 2 1 年 1 2 月 3 1 日)

収 入 の 部

(単位 : 円)

科 目	20 年度決算額	21 年度予算額	比較増減	備 考
前期繰越金	32.584	0	▲32.584	2 0 年度より
年 会 費	411.000	450.000	39.000	1 5 0 名 × 3 . 0 0 0 円
総 会 費	694.000	1.978.000	1.284.000	7 2 名 × 2 4 . 0 0 0 円 2 5 名 × 1 0 . 0 0 0 円
寄 付 金	75.940	100.000	24.060	
広 告 料	80.000	200.000	120.000	
借 入 金	52.676	0	▲52.676	
雑 収 入	409	500	91	預金利息
合 計	1.346.609	2.728.500	1.381.891	

支 出 の 部

(単位 : 円)

科 目	20 年度決算額	21 年度予算額	比較増減	備 考
総 会 費	1.050.592	2.100.000	1.049.408	
広 告 費	42.000	42.000	0	
通 信 費	48.330	50.000	1.670	
印 刷 費	60.314	130.000	69.686	会報発行
消 耗 品 費	13.982	15.000	1.018	
備 品 費	36.750	30.000	▲6.750	松江会手旗調製
雑 費	48.951	63.824	14.873	
旅 費	29.640	30.000	360	
振込料金加入者負担	16.050	15.000	▲1.050	
借入金補填	0	52.676	52.676	
予 備 費	0	200.000	200.000	
合 計	1.346.609	2.728.500	1.381.891	

平成 21 年 度 役 員 名 簿

顧 問	和 田 亮 介	(宍 道 町)
相 談 役	山 本 洋	(玉 湯 町)
相 談 役	伊 藤 雅 義	(宍 道 町)
会 長	苅 田 運三郎	(雑 賀 町)
事 務 局 長	竹 谷 獎	(八 束 町)
副 会 長	小 川 龍 朗	(島 根 町)
副 会 長	木 村 八重子	(東 本 町)
幹 事 長	有 田 嵩	(宍 道 町)
幹事長代理	澄 川 光 成	(雑 賀 町)
常任幹事・広報	松 本 耕 司	(上本庄 町)
幹 事・広報	千 葉 潮	(安 来 市)
監 事	木 幡 泰 三	(宍 道 町)
監 事	杉 原 伸 治	(奥 谷 町)

広 告 協 力 者 一 覧 表 (順不同)

(株)はーとケアグループ	〔京都島根県人会〕 下田 弘子
(株)東洋コーポレーション	〔会 員〕 山本 雅昭
活旬 大 枿	〔会 員〕 鳥屋尾 勇
近畿松江会 顧問	〔会 員〕 和田 亮介
松江商工会議所 会頭	〔賛 助 会 員〕 丸 磐根
近畿松江会 会長	〔会 員〕 苅田 運三郎
祇園 ゆ う	〔会 員〕 原 ますみ
(株)オーバHands	〔賛 助 会 員〕 寺戸 正格
竹谷設計事務所	〔会 員〕 竹谷 獎
日本建設(株)	〔会 員〕 井上 隆吉
キゲタ(株)	〔会 員〕 篠木 豊
阪神ユニフォーム販売(有)	〔賛 助 会 員〕 小林 妙子
(有)エクスパートナース	〔会 員〕 内部 茂
篠崎倉庫(株)	〔会 員〕 篠崎 治
(株)山陰合同銀行 大阪支店	〔会 員〕 杉原 伸治
劇団前進座(株) 京都営業所	〔賛 助 会 員〕 木村 こずえ
居酒屋「へそ」	〔賛 助 会 員〕 若松 靖子
武田精機(株)	〔会 員〕 武田 精
木村工機(株)	〔会 員〕 木村 八重子

近 畿 松 江 会 会 則

【名 称】

第1条：本会の名称は、「近畿松江会」（以下「本会」という）とする。

【会 員】

第2条：本会の会員は、近畿地区及びその近接地に在住する松江市域出身者並びに縁故のある者とする。

【目 的】

第3条：本会は、会員相互の親睦を図り、あわせて郷土の発展と活性化に積極的に参加・貢献することを目的とする。

【事務局】

第4条：本会は、事務局を事務局長の勤務先に置く。

【事 業】

第5条：本会は目的達成のため次のことを行う。

- 1 会報及び会員名簿の発行
- 2 親睦会等の開催
- 3 その他本会の目的達成に必要な事業

【役 員】

第6条：本会に次の役員を置く。

- | | | | |
|---|---|-------|-----|
| 1 | 会 | 長 | 1名 |
| 2 | 副 | 会 長 | 2名 |
| 3 | 幹 | 事 長 | 1名 |
| 4 | 副 | 幹 事 長 | 1名 |
| 5 | 事 | 務 局 長 | 1名 |
| 6 | 常 | 任 幹 事 | 若干名 |
| 7 | 幹 | 事 | 若干名 |
| 8 | 監 | 事 | 2名 |
| 9 | 顧 | 問、相談役 | 若干名 |

【役員の選任】

第7条：役員は次の通り選出する。

- 1 会長、副会長及び幹事長は役員の互選とし、総会で承認する。
- 2 事務局長及び常任幹事、幹事は会長が委嘱する。
- 3 監事は総会で選出する。
- 4 顧問、相談役は、会長が指名し、役員会の議決を経て、総会で承認する。

【役員の職務】

第8条：役員の職務は次の通りとする。

- 1 会長は、本会を代表し、その会務を総理する。
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあったときは、その職務を代行する。
- 3 幹事長は、会長の指示をうけて、会務の運営・執行にあたる。
- 4 副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故のあったときは、その職務を代行する。
- 5 事務局長は、会長の指示をうけて、会務の推進を図る。

- 6 常任幹事は、行事担当幹事、会報担当幹事、地域担当幹事として幹事長を補佐する。
- 7 幹事は、会務を補佐する。
- 8 監事は、本会の会計、会務の執行につき監査し、総会にその結果を報告する。
- 9 顧問、相談役は、役員会の諮問に応じ、会務について意見を具申する。

【役員の任期】

第9条：役員の任期は2年とする。但し、再任は妨げない。

【総会】

第10条：総会は次の通りの要綱にて開催する。

- 1 総会は、会長が招集する。
- 2 総会は、本会の最高意思決定機関であり、会務の報告、決算の報告、決算の承認、役員等の承認
会則の改正、その他本会の目的達成に必要な事項の審議を行う。
- 3 総会は、年1回の開催とする。但し、役員会が必要と認めたとき、または3分の1以上の
会員が請
求があったときは、臨時総会を開くことが出来る。
- 4 総会の議長は、会長が務める。
- 5 総会の議決は、総出席者の過半数による。可否同数の場合は議長がこれを決する。

【役員会】

第11条：役員会は次の通りの要綱にて開催する。

- 1 役員会は、会長、副会長、幹事長および副幹事長、事務局長、常任幹事、監事、顧問、相談役を以って構成する。
- 2 役員会は、会長が招集し、議長を務める。
- 3 役員会は、本会の執行機関であり必要な事項を協議、議決し本会の運営、事業の執行などにあたる。

【加入及び脱退】

第12条：本会の加入及び脱退は次の通りの手続きにより行うものとする。

- 1 本会に加入しようとする者は、所定の様式により会費を添えて申込むものとする。
- 2 本会を脱退しようとする者は、文書により会長に申し出るものとする。但し、3期間継続して会費の納入がないときは、退会したものとみなす。

【会計】

第13条：本会の会計は次の通り運営する。

- 1 本会の経費は、会費及び寄附金その他を以って充てる。
- 2 本会の会費は、年額3,000円とする。
- 3 本会の会計年度は、毎年1月1日に始まり、12月31日に終わる。

【雑則】

第14条：本会を解散並びに本会則に定めなき事項若しくは疑義が生じた場合は、全会員の3分の2以上の賛成を得なければならない。

【附則】

- 1 本会会則は平成18年10月22日より実施する。
- 2 平成21年5月15日改正。

会 員 名 簿		(出身地五十音順)
【秋 鹿 町】		
竹 田 洋 一	(西宮市中島町)	
【上 乃 木】		
神 谷 紀 男	(堺市堺区)	掃 部 恵 子 (枚方市楠葉丘)
諏 訪 秀 富	(茨木市上穂積)	諏 訪 宏 (大阪市中心区)
【上 乃 木 町】		
森 廣 洋 子	(芦屋市親王塚町)	
【朝 日 町】		
岡 田 清	(大阪狭山市東茱萸木)	
【石 橋 町】		
井 上 芳 子	(高槻市土室町)	片 岡 扶美子 (芦屋市山手町)
永 井 ひろし	(京都市右京区)	
【伊 勢 宮 町】		
竹 谷 曜 子	(大阪市中心区)	宮 内 玲 子 (大阪市中心区)
【内 中 原 町】		
千 葉 新 一	(池田市井口堂)	
【邑 生 町】		
松 本 稔	(川崎市中原区)	
【大 庭 町】		
押 田 良 樹	(吹田市山田東)	
【奥 谷 町】		
加 藤 卓 嗣	(枚方市西牧野)	杉 原 伸 治 (大阪市中心区)
【鹿 島 町】		
宇 藤 二男丸	(和泉市いぶき野)	坂 井 茂 子 (亀山市中矢田町岸)
竹 内 昭 雄	(尼崎市東本町)	山 本 雅 昭 (大阪市中心区)
【春 日 町】		
足 立 猛	(神戸市東灘区)	
【上東川津町】		
井 上 隆 吉	(大阪市中心区)	
【上 本 庄 町】		
松 本 耕 司	(枚方市山之上北町)	
【北 堀 町】		
伊 藤 征 治	(奈良市若葉台)	長谷川 晴 彦 (堺市西区)
隠 木 喜美子	(枚方市楠葉花園町)	平 山 武 秀 (箕面市瀬川)
六 鹿 寿 美	(吹田市佐井寺)	
【古 志 原 町】		
岡 林 加代子	(神戸市東灘区)	曾 田 良 子 (奈良市西大寺国見町)
【古 曾 志 町】		
山 根 康 洋	(大阪市中心区)	
【雑 賀 町】		
足 羽 俊 子	(西宮市苦楽園三番町)	小 原 弘 幸 (豊中市小曾根)
苅 田 運三郎	(明石市魚住町清水)	木 村 恵 吉 (吹田市山田西)
篠 崎 治	(神戸市中心区)	篠 崎 一 浩 (神戸市中心区)
澄 川 光 成	(河内長野市緑ヶ丘北町)	高 本 薫 (大阪市中心区)
武 田 和 子	(宝塚市仁川高台)	福 間 則 博 (宝塚市栄町)

【幸 町】

三 島 登志子 (羽曳野市南恵我之荘)

【島 根 町】

石 橋 直 之 (富田林市高辺台)

小 川 勉 (柏原市本郷)

藤 城 坦 (神戸市垂水区)

小 川 龍 朗 (京都市伏見区)

客 野 伸 (神戸市東灘区)

【湊 北 台】

山 田 敬 子 (吹田市垂水町)

【白 潟 本 町】

吉 田 郁 子 (豊中市原田元町)

【新 雑 賀 町】

鳥 谷 芳 男 (高槻市日吉台六番町)

仁 宮 龍 聖 (高石市西取石)

永 井 彰 (大津市坂本)

【宍 道 町】

有 田 嵩 (大阪市西区)

池 尻 正 明 (東大阪市玉串町)

太 田 幸 廣 (神戸市垂水区)

太 田 厚 (加古川市平岡町)

木 原 貢 (豊中市三国)

小 寺 紀 子 (伊丹市梅ノ木)

木 幡 晃 正 (篠山市住吉台)

武 田 精 (八尾市北木ノ本)

土 江 安 雄 (堺市北区)

光 田 仁 一 (奈良市六条緑町)

和 田 亮 介 (豊中市曾根西町)

渡 部 恵美子 (宝塚市雲雀丘山手)

池 尻 和 子 (東大阪市玉串町)

伊 藤 雅 義 (京都市山科区)

小 田 兼 久 (豊中市小曾根)

川 島 俊 雄 (川西市見野)

小 高 久 始 (堺市東区野尻町)

木 幡 泰 三 (寝屋川市堀溝)

梶 月 禧 暉 (宝塚市伊子志)

田 中 晨 子 (枚方市養父東町)

永 原 忠 巳 (茨木市東太田)

森 山 三 郎 (京都府相楽郡南山城村)

渡 部 勇 (宝塚市雲雀丘山手)

渡 辺 春 雄 (河内長野市旭ヶ丘)

【新 町】

中 村 博 行 (名張市梅が丘北 4 番町)

【末次本町】

山 田 稔 (富田林市楠風)

【外 中 原 町】

池 田 康 郎 (宝塚市南口)

寺 戸 すみ子 (生駒市あすか野北)

四方田 司 (明石市二見町)

【大 正 町】

望 月 修 一 (豊中市東泉丘)

【竪 町】

篠 田 恵美子 (京都市左京区)

【玉 湯 町】

黒 崎 忍 (西宮市田代町)

山 本 洋 (川西市大和西)

長谷川 紀美子 (奈良県北葛城郡王子町)

【天 神 町】

熊 野 禮 助 (箕面市箕面)

【殿 町】

飯 塚 満 男 (茨木市郡)

三 島 薫 (生駒市西旭ヶ丘)

【灘 町】

長谷川 忠 雄 (奈良県北葛城郡王子町)

長谷川 吉 雄 (枚方市楠葉花園町)

【中原町】

佐藤 栄 治 (西宮市大浜町)
林 田 啓 江 (箕面市桜井)

宍 道 弘 志 (吹田市春日)

【西尾町】

篠 木 豊 (大阪市北区)

【西津田】

達 山 暢 (神戸市中央区)

【西堀吉町】

森 山 博 和 (明石市樽屋町)

【西持田町】

鶴 羽 孝 子 (大阪市西区)

【浜乃木】

内 部 茂 (大阪市北区)
村 上 裕 司 (大阪市中央区)

牧 野 千代美 (大阪市北区)

【東朝日町】

菊 池 尅 雉 (神戸市西区)

山 根 一 朗 (明石市樽屋町)

【東生馬町】

青 戸 哲 哉 (大阪市北区)

青 戸 俊 夫 (神戸市東灘区)

【東忌部町】

新 田 隆 三 (大阪市北区)

【東本町】

木 村 八重子 (八尾市刑部)

永 江 幹 雄 (神戸市北区)

【法吉町】

由 木 文 彦 (京都市中京区)

【母衣町】

川 角 十四枝 (高槻市登美の里)

【本郷町】

廣 政 俣 彦 (吹田市上山田)

【枕木町】

木 島 光 子 (大津市陽明町)

【南田町】

山 崎 杲 (西宮市上ヶ原八番町)

【美保関町】

愛 田 幾 也 (神戸市兵庫区)
景 山 麻利子 (藤井寺市沢田)

梅 木 隆 志 (大阪市鶴見区)

【八雲町】

石 倉 文 行 (豊中市服部西町)

薮 田 とし江 (大阪市鶴見区)

【八束町】

岩 田 太 (神戸市北区)
門 脇 幸 夫 (大阪市平野区)
河 野 宗 子 (草津市若草)
西 藤 篤 子 (伊丹市昆陽南)
坪 山 孝 美 (宝塚市安倉南)

門 脇 基 (茨木市穂積)
川 原 ひろ子 (豊中市熊野町)
高 瀬 保 子 (池田市鉢塚)
竹 谷 獎 (大阪市中央区)
松 本 悟 (大東市扇町)

【山代町】

井 川 和 美 (三田市ゆりのき台)

【八幡町】

大野 徹 (奈良市中山町)

【出雲市】

桐原 善行 (尼崎市東難波町)

杉谷 百合子 (京都市中京区)

竹内 一郎 (大阪市東淀川区)

鳥屋尾 勇 (大阪市天王寺区)

【雲南市】

森山 峯也 (伊丹市穂積町)

【浜田市】

北島 幸子 (豊中市庄内幸町)

【安来市】

荒銀 昌治 (西宮市深津町)

千葉 潮 (豊中市千里東町)

【飯南町】

佐和田 丸 (枚方市御殿山町)

【津和野町】

青木 順次 (守山市金森町)

【斐川町】

金山 富美 (松江市上乃木)

【東出雲町】

小松 哲夫 (京都市伏見区)

【横浜市】

長谷川 緑 (枚方市楠葉花園町)

【京都市】

小川 ますみ (京都市伏見区)

【明石市】

小松 雅子 (明石市二見町)

藤原 浩子 (三木市緑が丘町)

【姫路市】

山本 達郎 (姫路市飾磨区)

【呉市】

荻田 チェミ (明石市魚住町)

【萩市】

守田 宣昭 (松原市岡)

【訃報】

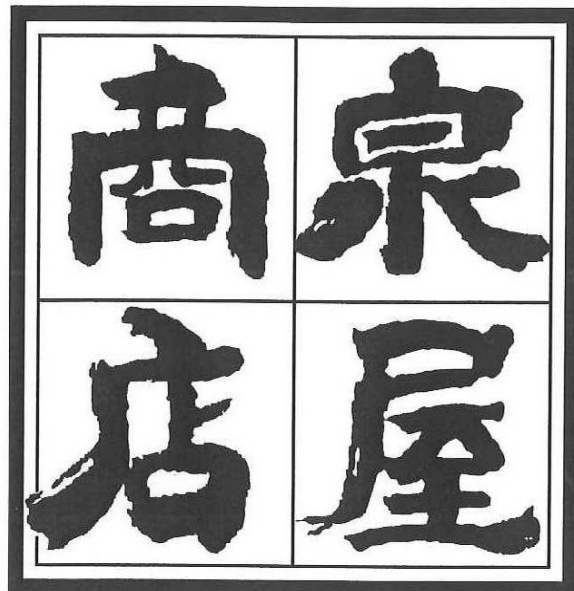
池尻 正明 (宍道町出身) 平成21年7月24日 ご逝去

こだわりの一夜干し

これは!といった山陰の魚だけを、恵曇の潮風で丹精いたしました。本物の味をお届けします。

ご贈答・お歳暮・お中元に…

創業天保年間



^え恵 ^{とも}曇 港

島根県八束郡鹿島町恵曇港

TEL.0852-82-0015/0056 FAX.0852-82-2700

URL : <http://etomo-izumiya.com/>

近 畿 松 江 会

顧問 和田 亮 介

〒561-0801

豊中市曾根西町4丁目 100-6-310

TEL 06-6852-3365

FAX 06-6852-3387

劇団前進座(株)

京都営業所
事務長

木 村 こずえ

〒605-0802

京都市東山区大和大路四條下ル大和町4-2
ナラフジビル503

TEL: 075-561-6300

FAX: 075-525-2882

E-mail: k-zenshinza@syd.odn.ne.jp

URL: <http://www.zenshinza.com/>

おかげさまで会社設立10年目になります。

ご親族の方のお部屋探し、不動産の売却、購入、不動産の事ならお任せ下さい。



有限会社 エクスパートナース



代表取締役

うちべ しげる
内部 茂

大阪府知事(1)第52344号

(社)大阪府宅地建物取引業協会会員

〒531-0075

大阪市北区大淀南 1-4-18

ウエスティンホテル向いです。

Tel 06-6452-5581 / Fax 06-6452-5455

URL <http://www.eks-p.com/> E-mail info@eks-p.com

神戸とともに半世紀

翔く SHINOZAKI

より速く、より正確に、より安全に、

保管のスペシャリスト

篠崎倉庫株式会社

代表取締役 篠 崎 治

〒650-0023 神戸市中央区栄町通 4-1-11

TEL 078-341-6721 (代表)

FAX 078-361-3645

その他事業所

神戸市中央区弁大町(シーガルハーバービル)

神戸市中央区栄町通(エタニティ栄町ビル)

神戸市兵庫区築地町

神戸市灘区灘浜町(シー・スクエア摩耶)

大阪府豊中市向丘(豊中ビル)

活旬

だいます

大榎

大阪市天王寺区玉造元町三ノ二

玉造店 〇六―六七六八―九七六八

東大阪市足代新町一番四十四号

布施店 〇六―六七八三―五八五七

大阪市北区曽根崎二丁目十四番十号

曽根崎店 〇六―六三六一―九九九一



代表取締役

鳥屋尾 勇

(出雲市出身)

牛ゲタ株式会社

代表取締役

篠 木 豊

〒530-0043

大阪市北区天満三丁目二ノ九
TEL(〇六) 六三五一―七二〇一
FAX(〇六) 六三五―一七二〇三

日本建設株式会社

監査役 井 上 隆 吉

本社 541-051

大阪市中央区備後町一丁目六番一五号
TEL(〇六) 六二二八―〇六二〇森
FAX(〇六) 六二二八―〇六五〇森

松江商工会議所

会頭 丸 磐 根

松江市母衣町五五―四
TEL(〇八三) 21-一六一六(代)

冷暖水ヒートポンプ式空調機製作販売

顧問 木村工機株式会社

木村八重子

540-0005 大阪市中央区上町A番三号

TEL(〇六) 六七六四―六六二番代表
FAX(〇六) 六七六四―六六三番

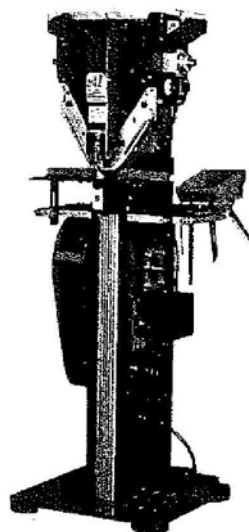
山陰合同銀行 大阪支店

支店長 杉 原 伸 治

〒530-0005 大阪市北区中之島二丁目三番三三号
(大阪三井物産ビル一三階)
TEL(〇六) 六二〇〇―一〇三〇六
FAX(〇六) 六二〇〇―一〇三〇六

自動ホック打機 TM—200V

累積生産台数 8,000 台を誇る
伝統を持つ代表機種 TM—200 をベースに
プラスチックホック専用機種として、世界に
先駆けて開発



プラスチックホック

ベビーウェアー及び各種アパレル製品に最適な
軽くてソフトな肌触りのプラスチックホック



プラスチックホック・精密機械製造販売

精密金型 設計・製作

武 田 精 機 株 式 会 社

TAKEDA SEIKI CO., LTD

代表取締役 武田 精

本 社

〒581-0041

大阪府八尾市北木の本
1丁目12番地

TEL: 072 (923) 5181

FAX: 072 (923) 5186

大阪営業所

〒541-0056

大阪府中央区久太郎町
1丁目8-11

TEL: 06 (4705) 7500

FAX: 06 (4705) 7433

三重工場

〒518-1155

三重県伊賀市治田
字大沢3090-23

TEL: 0595 (20) 9051

FAX: 0595 (20) 9052



私達はあなたの笑顔が輝くように真心でサポートします

株式会社 **はーとケアグループ**

代表取締役 **下田 弘子**
(京都島根県人会 副会長)



介護保険対象
訪問介護事業所
あったかハート伏見東



代替療法の普及・研修
シンパシー協会

介護用品・書籍の販売



ふわり



介護保険対象外
在宅介護サービス
ゆづり サポートサービス



代替療法
シンパシー施術
シンパシーステーション

〒607-8162
京都市山科区柳辻草海道町12-7 タケナカビル5F
TEL 075-583-2611 FAX 075-592-1022
<http://www.heartcare-g.co.jp/>

たくさんの商品の中から
選びたい あなたに合った保障を!!

保険の見直し オーバハズに
是非お申し付けください。

(総合保険代理店)

株式会社 **オーバHands**

代表取締役 寺戸 正 格
認定生命保険士 寺戸 すみ子 (松江市出身)

〒630-0134
奈良県生駒市あすか野北1-1H9-25
TEL 0743-70-0977 FAX 0743-70-0978
携帯 090-3054-5680
E-mail: teratera@kvf.biglobe.ne.jp

取扱会社

オリックス生命 アフラック (アメリカンファミリー生命) アイエスジー生命 三井住友海上きらめき生命	日 本 生 命 アクサファイナンシャル生命 損保ジャパンひまわり生命
---	---

ユニフォームはレンタルの時代!!!

HAN・HIN

阪神ユニフォーム販売 有限 会社

本 社 〒540-0021 大阪市中央区大手通2-3-17
TEL06 (6943) 6990 FAX06 (6943) 6980
E-mail: hanchin@hanchin-uniform.jp

奈良営業所 〒631-0846 奈良市平松町4-6-1
TEL0742-51-8226 FAX0742-44-4628

竹谷設計事務所
大根島 企画

竹 谷 奨



〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町2-34
東洋軒ビル4階
TEL 06-6785-2101 FAX 06-6785-2104
携帯 090-3054-8159
E-mail: oskake@fl.ij4u.or.jp

原 ますみ

京・祇園 花見小路四条下ル四筋目東入
(075) 561-1019

 090-1146-6683



居酒屋 へそ

若 松 靖 子 (隠岐出身)

〒530-0041

大阪市北区天神橋 2-4-17

電話 06-6356-5366

近畿松江会

会 長 荻田 運三郎

〒674-0077

明石市魚住町清水 2249-5

TEL 078-943-1500

FAX 078-943-1500

編 集 後 記

市町村合併を機に、大同団結をする形で「近畿松江会」が発足してから3年を迎えました。その時に丁度、12年に一回の「ホーランエンヤ」がおこなわれ、その見学を兼ねて松江で総会を開催しようということになりました。

結果的には多くのご参加者の記憶に残る（だろう）素晴らしい歴史となりました。これは近畿松江会にとっては「瑞兆」ではないでしょうか。

12年に一回のホーランエンヤ見学を楽しみに、近畿松江会の活動も続けられればいいなと思います。

「ふるさとの会」は距離が遠いほど結束も強くなるようです。「遠きにありて思うもの」とは言いがたいほど松江と近畿の距離が近くなった今、「近畿松江会」の会員を拡大し、活発に活動をしていくことは並大抵のことではありません。

ひと味もふた味も他とは異なる特色が必要になると思いますが、それでも、松江の会ならそれができるかもしれないと期待をしてしまうところが、松江にはあります。それを全会員が一緒になって模索し続けるところに活力の源泉も生まれてくるのではないのでしょうか。その努力や苦労を楽しみと考えるような気持ちで取り組みたいものだ、自分に言い聞かせたいと思います。

今回の会報第2号は、発足して間もないまだまだ様々な迷いもある段階での発刊ですが、できるだけ設立3年目の活動の現状を忠実に、そしてホーランエンヤを機会に松江で総会を開催したことの記録を将来に残しておくことを主眼に編集をしました。

「小さく生んで大きく育てる」ということを意識して取り組みましたが、お読みいただいていたかがでたでしょうか。「少しは分かったデ」と感じていただければ望外の幸せです。

松浦市長、荻田会長をはじめ、会報の発刊にご協力いただきましたすべての皆様に心から御礼を申し上げます。

又、広報担当は名ばかりで、実際には竹谷事務局長が殆どの編集の労をおとりくださったことを申し添えて、感謝の言葉に変えさせていただきます。

常任幹事（広報担当）松本耕司

近畿松江会 会報 第2号

平成21年9月発行

発行者 近畿松江会事務局

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町2-34 竹谷設計事務所内

TEL 06-3665-2101 FAX 06-6765-2104

E-mail osktake@ff.ij4u.or.jp

印刷・製本 株式会社 福谷洋紙店

〒537-0012 大阪市東成区大今里1-1-25

TEL 06-6978-2577 FAX 06-6978-2588